

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年8月9日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 47
校長 田中 成年

<長崎に生きる者として>

～長崎祈りの日～

1945年（昭和20年）8月9日午前11時2分、松山上空500mで炸裂した原子爆弾は当時長崎市民約24万人のうち約3割の約7万4千人の尊い命を奪いました。

この日、原子爆弾により犠牲となられた方々に哀悼の誠を捧げるとともに恒久平和を誓い、私たちにできることを日々の教育活動でしっかりと行っていきたいと思います。

世界の核兵器の保有数は2024年1月時点で12,121発そのうち約9割を2つの大国が保有しています。前年度からすると核兵器の数は減っているようですが、ある国では昨年度よりも90発増加、またある国では核開発を進め昨年度よりも20発も増加させています。戦術核兵器の使用を想定した演習を進めている国もあります。今世界では戦争、紛争が起きており、全世界が核の脅威にさらされているのは事実です。

日々の平和な状況が当たり前ではないということを子供たちにも伝え、今の日本の社会や世界に目を向けることができる子供たちを育てていかないといけないのではないかと思います。

子供たちには「平和は長崎から」を合言葉に、「平和の尊さ」や「戦争の愚かさ」について深く考えるとともに、自らの表現で世界に「平和への思い」を発信してもらいたいと思います。

世界と言え、7月16日には3年生が中国上海の子供たちと交流する機会があったことは、「学校だより45」でお伝えしました。大人の都合は全く関係のない素朴で真っ白な子供たちの交流は素敵なものでした。

本日「長崎祈りの日」に、畝刈小学校でも「平和集会」を行いました。長崎に生きる者として長崎を世界で最後の被爆地とするためにも、子供たちが真剣に平和と向き合う機会を続けてつくっていかねばいけません。「日々の平和が当たり前ではない」ことを意識しながら長崎の平和教育、畝刈小学校の平和教育を進めてまいります。ご家庭でも今日この日を大切に、家族で話をする機会をつくっていただけると幸いです。

今日一日穏やかな気持ちで、亡くなられた方への祈りを捧げる大切な日としたいと思います。みなさん、ともに祈りましょう。